

シンポジウム 大学とNGOとの パートナーシップ形成の可能性

愛知淑徳学園設立110周年・愛知淑徳大学設立40周年記念事業

主催 愛知淑徳大学 グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

日時 2015年12月9日(水) PM3:10~4:40(4時限)

会場 愛知淑徳大学・星が丘キャンパス 25A教室

開催趣旨

国際人材育成は愛知淑徳大学 グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 (GCC) の主な理念であり、教育課程において今後NGOとの協働の可能性について探る

プログラム

- * 報告：2つのNGOによる国内外の環境保全活動の報告・課題提示：
 - ・「インド、ネパールそして飛騨高山における地域活性化事業」 竹内ゆみ子氏 (認定NPO) ムラのミライ 国内事業担当
 - ・「環境保全事業に対するオイスカの取り組み」 小杉裕一郎氏 (公財) オイスカ中部日本研修センター 副所長
- * コメンテーター：西井和裕氏 (認定NPO) 名古屋NGOセンター 理事長
- * コーディネーター：ブイ・チ・トルン (愛知淑徳大学 GCC研究科教授)



竹内ゆみ子氏

認定NPO法人ムラのミライ 国内事業担当
NPO法人まちづくりスポット 代表理事
NPO法人地域の未来・志援センター理事長

高知県生まれ。30年間デザイン業に関わる。80年代始めから、市民活動団体の広報活動を手伝う。その後13ヶ月間のインド、東南アジアの旅のあと高山市に移住。93年インドを支援する国際協力NGOの立ち上げに関わる。インドの村長さんの質問がきっかけで2000年高山市の地域づくりを開始。空き家活用コミュニティスペースを開設、多くの研修生を受け入れる。中国人花嫁のネットワークづくり、アレルギーの子供のために米粉パン工房立ち上げ支援。2012年、中間支援団体NPO法人まちづくりスポットを企業と協働で設立。



小杉裕一郎氏

公益財団法人オイスカ中部日本研修センター 副所長

東京都武蔵野市出身。日本大学文理学部卒業。日本経営者団体連盟(現経団連)広報部勤務を経て、平成7年オイスカの国際協力ボランティアに参加。平成8年オイスカ中部日本研修センター配属となり、「子供の森」計画を担当、その後愛知県支部にて啓発普及を担当、平成21年より現職。夢は中部センターを日本一の人づくりセンターにすること。家族はインドネシア人の妻と二男二女。



西井和裕氏

認定NPO法人名古屋NGOセンター理事長

1987年よりフィリピン情報センター・ナゴヤ(NCPC)運営委員。フィリピン/バナナ 反農業キャンペーン「バナナから人権へ」、レイテ島パサール銅製錬所の環境汚染調査、セブ島及びボホール島におけるODA影響住民調査に基づく日本政府への政策提言などに携わる。2000年、名古屋NGOセンター理事に就任。2006年より同センター理事長。政策提言で中心的役割を果たし、2000年よりNGO・外務省定期協議会のNGO側委員を務める。現在は同定期協議会ODA政策協議会のNGO側コーディネーターを務めている。2015年5月より(特活)泉京・垂井理事。政策提言担当。NCPCは2015年7月に解散。